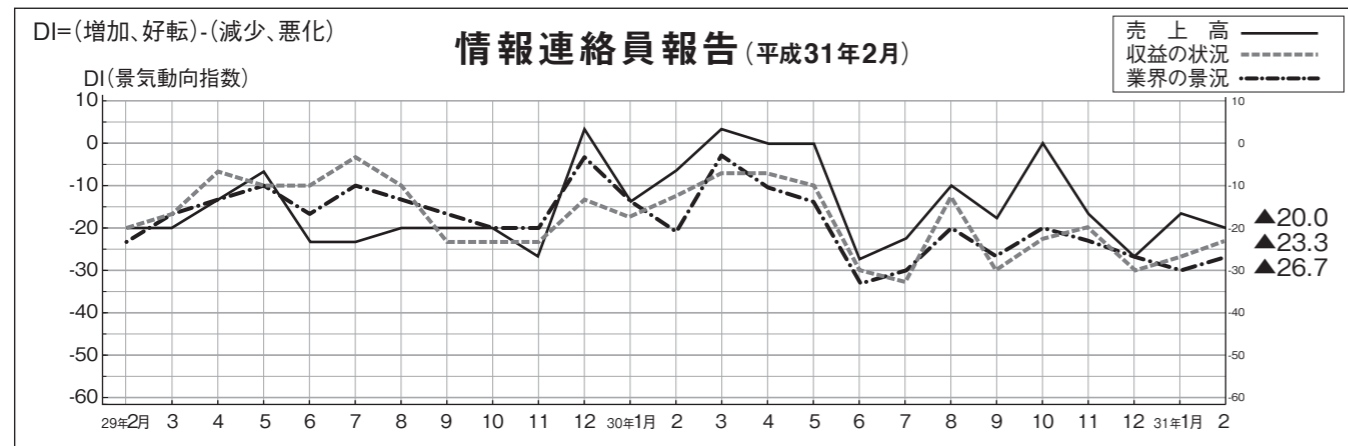


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向 2019年2月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

**食品団地**  
2019スーパーマーケット・トレードショーが開催され、高知県ブースに47社が参加。活発な商談が展開され、現在商談中となっていることから多忙期となっており、地産外商活動の成果が期待される。

**生コンクリート製造**  
出荷量は前年同月比 102.%であるが、今年度(4月~2月)累計では94.3%となっており、体としては、需要の低迷状態が続いている。

**酒類製造**  
全国的に飲酒人口や一人当たりの飲酒量が減少しているためか、比較的順調であった県外出荷がやや苦戦している。

**コンクリート製品**  
出荷数量は前年同月比67%。市況は、減少状況が続いている。

**テントシート**  
全般的には通常年度の環境に戻った印象であるが、原油価格の高騰に加え、動燃費の値上がりや人件費、物流コストの上昇等は依然継続している。

**機械団地**  
団地内企業の経営課題の上位には、従業員の確保難や原材料価格の上昇が挙げられている。仕入価格の上昇を販売価格に転嫁している企業も一部にみられるが、団地内は概ね前年並みの業況が続いている。

**木製品素材生産**  
スギ搬入量は横ばい。ヒノキ搬入量については20%程度減。価格については、スギが単位当たり500~1,000円の下落となるものの、ヒノキについては横ばいの状況となっている。

**刃物製造**  
売上金額はほぼ昨年と変わっていないが、受注に対し供給量が上がらない。供給量が上がると、前年対比をクリアできることになる。4月からの価格改定までに少しでも売上げを伸ばしたい。

**製材**  
製材設備の老朽化や経営者の高齢化等、事業継続に関する問題等による業況の不確実さを抱えつつも、現状維持の状態が続いている。

**船舶製造**  
操業度は、受注残の消化等によって、引き続き高い水準で推移している。

**製紙**  
家庭紙(トイレット、ティッシュ、他)関係に限った報告となるが、原料のパルプ価格が一段落し、一服感はある。しかし、採算面に於いては、完全回復までは程遠い状況である。

**珊瑚装飾品製造**  
2月の製品会は、年に一度の大会製品会であるが、今年は県外からの参加業者が減少し、去年度の取引額比の45%であった。昨年度から不景気が続き、買い控えがあった。

**印刷**  
県内需要は官公需、一般共にまずまずの状況で推移。県外需要は、業種によって好不調の2面が見られるが、全体では辛うじて前年並みを保った印象。収益的には用紙、運賃等の値上げも響き、厳しい状況。

**卸団地**  
暖冬の影響か、例年より落ち着いた印象の2月であった。大型連休や、その前の統一選挙などで厳しい春になりそうなおうえ、働き方改革により、労働時間を減らすことで、実務に影響が出るかもしれない。

**青果卸売**  
野菜、果実ともに、市場入荷量は約10%程度の減少。果実の平均キロ単価は、昨対105%。野菜は入荷減にもかかわらず、平均キロ単価は低下。野菜、果実合計では、昨対比で80%程度となった。

**商店街(四万十市)**  
もともと閑散期である2月であるが、若い世代の来店が年々減少していることを不安視しているとの意見が多かった。3月は観光客や夜のお客が見込める時期であり、関係する店舗の頑張りに期待したい。

**生鮮魚介卸売**  
強風の影響もあり、全般に入荷量が少なかったが、ブリは、遅ればせながらも月半ばより漁があった。

**旅館・ホテル**  
スポーツ関連のキャンプや空室販売の強化に加え、例年以上にコンベンション利用と宴会需要が伸び、稼働率、売上げともに上昇した。

**各種小売(土佐市)**  
1月に続き、2月も厳しい月となった。もう少し暖かくなり、お客様が動き出したら、売上げも上がるのではないかと、今後に期待している。

**飲食店**  
集客が多く前年度比でも売り上げが増加した店舗が多かった。業界の景況はやや好転した。

**ガソリンスタンド**  
原油需給の引き締め感などにより、原油相場が再上昇し、石油元売り会社の仕切り価格は値上がりしているが、高知県の製品価格は下落し、2月下旬より値下がりがした。

**旅行業**  
組合クーポン前年同月56%、全旅クーポンを加味して66%。平成30年度総売り上げは前年対比108%。全旅クーポンは飛躍に敵に売り上げを伸ばしている反面、組合クーポンの売上減少は続いている。

**電気機械器具小売**  
全体で、前年比98%。大型冷蔵庫103%、大型テレビ78%、プチリフォーム106%となっている。(いずれも販売金額比)

**一般土木建築工事**  
公共土木生コン出荷量は、前月比94.0%、前年同月比103.6%。平成30/4~31/1累計は前年同月累計対比90.8%の水準。2月の公共工事請負金額は前年同月比で91.8%、前年対比累計金額では97.2%。

**中古自動車小売**  
2/22~24、ぢばさんセンター駐車場にて開催の「KOCHI中古車ジャンボカーニバル」は、前年比、約30%増の成約台数であった。

**電気工事**  
高知中央地区の組合員が施工する電力引込線関連工事は伸びているが、全体としては、ほぼ前年並である。

**商店街(安芸市)**  
2月は阪神タイガースのキャンプが行われ、球場周辺は多くの人で賑わったが、商店街への影響はほとんどなかった。

**一般貨物自動車運送**  
燃料価格は3ヶ月ぶりに値上げに転じた。3月も値上げは必至で、組合員事業者には人手不足等問題が山積しており厳しい年度末となりそうである。

**商店街(高知市)**  
中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比105.7% 台数:前年比103.7%。オーテピア西敷地の民間による複合施設建設が「白紙撤回」となった。賃貸の方針で、19年度中に再公募を実施予定とのこと。

**タクシー**  
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:99.7%、輸送回数:98.6%。当月の実働率(車両稼働率)は63.8%。運転者が高齢のため、病气や引退等により減る一方であり、運転者不足が続いている。

あなたの挑戦のそばに  
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー

MS&AD  
三井住友海上  
www.ms-ins.com

クルマの保険  
すまいの保険  
ケガの保険

立ちどまらない保険。  
MS&AD  
三井住友海上  
www.ms-ins.com

MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.